

どおする JR東海 浜岡原発 運転停止 要請

①15

2011. 5. 7

JR東海労東二運分会

菅首相が6日、浜岡原発の全ての運転を停止するよう、中部電力に要請した。停止期間は、想定される「東海地震」に耐えられる防潮堤の設置など、中長期的な対策が講じられるまでとして、地震対策が講じられるまでとの考えを示した。電力不足は国民の理解を得られれば、十分に対応可能とも説明した。ちなみに、2011年度の中部電力の発電設備出力は3089KW（このうち浜岡原発は350KW）の計画で、需要は2709KWの見通しのため、差し引きすると、今のところ夏場の電力不足はなく、計画停電は避けられそおだという。

海江田経済産業相は、火力発電や揚水発電の活用と共に、不足の場合の関西電力への協力はすでに要請済み、と説明した。しかし中部電力は、対策が必要で、完了には2～3年程かかる見通し、を明らかにしている。

浜岡原発で現在、稼働しているのは4、5号機だが、菅首相は「定期検査で停止中の3号機のみならず、運転中のものを含めて、全ての原子炉を停止すべき」と判断した。その理由は「文部科学省の地震調査研究推進本部の評価を重視し、「これから30年以内にマグニチュード8程度の東海地震が発生する可能性は87%と極めて切迫している」とし「国民の安全と安心を考えた」と強調した。

国内の情勢分析は？ 迫られる事態への対応は？

ここで問われるのはJR東海で、震災も何のそので、通常運転を続けている東海道新幹線をどおするのか、だ。

本社 巢山総務部長は「JR東海」5月号「CJRインタビュー」で、「東日本大震災の発生により、鉄道事業の持つ公共性や国民生活に与える影響の大きさを改めて認識し、危機管理能力の向上に努める必要性を再確認し」、「今後もさらなるリスクに備えるために国内外の諸情勢の分析などを行い、全社的な見地から当社が重大な対応を迫られるような事態への対処能力を高めていきます」と自信タツプりに答えている。情勢分析の結果、当社の重大な対応は迫られない、とならないか心配だ

それよりも
「2年だけ 我慢でリニア 乗り切るか？」 CD 頑爺